

ミラつくプロジェクト 主な内容

【提案・意見交換】

参加者

●他県の海水浴場では、今どきの若者の好みやニーズに対応しながら、若者の海離れを食い止めるための取組がみられるが、光市の海水浴場における対応を知りたい。

市長

・本市には、室積・虹ヶ浜の2つの海岸があり、室積海岸は、だるま夕日が有名で、広島などからたくさんのカメラマンが来ている。また、カタクチイワシの大群の到来といった風物詩もあり、室積海岸については、手付かずの自然として、守っていきたいと考えている。

・虹ヶ浜海岸については、光駅からも近く、人の生活、営みからも近いため、にぎわいをつくりやすいと考えている。マルシェやウェディングイベントの開催などもあり、市もビーチランなどのイベントを開催している。虹ヶ浜海岸でたくさんの交流が生まれることを願っている。

・しかしながら、虹ヶ浜海岸は瀬戸内海国立公園の一部であり、施設をつくること、地形を変えること、松林に手を加えることについては、制約が非常に大きい。

参加者

●虹ヶ浜海岸で、ビーチサッカーイベントを2002年度から毎年開催している。本大会は、日本代表選手も3人輩出しているため、光市も協力してほしい。

市長

・市の基準に合致するものは、後援や共催という形をとり、駐車場の確保支援や使用料の減免といった支援が考えられる。

・補助金については、公の利益に合致するものであることが大前提となる。公平公正の観点もある。検討の際は、市の担当部署にも相談いただきたい。

参加者

・沖縄県金武町の事例では、イベントに対して市が賞金を出す手法で、全国から集客を図り、金武町に宿泊してもらった仕組みを実現させている。また、自分たちでアイデアを考えて提案してみたい。

参加者

●会場を整備すれば、ビーチサッカーだけではなく、ビーチバレーやビーチテニス、ビーチフラッグなどが楽しめる。来場者が増えて、地域の飲食店などの利用者が増えるのではないかな。

国立公園の兼ね合いで規制があることは理解したが、国の事業なども活用しながら、自然を守るエリア、にぎわいをつくるエリアといったように、虹ヶ浜海岸の区分け・ブランディングを明確にするとよいのではないかな。

市長

・施設の規模や設置する期間などにもよるが、虹ヶ浜海岸での施設整備には県の許可が必要であり、県との調整も必要となる。

・財政状況が厳しい中、新しい施設の整備は費用対効果などを慎重に見極めていく必要がある。私自身、市長就任以降の約10年間で建替えなどを除くと、新しい施設の整備は、里の厨・ゆーぱーくの2施設のみである。虹ヶ浜海岸については、ぜひ、みなさんのような団体のソフト事業を中心に盛り上げてもらいたい。

ミラつくプロジェクト

・光市だけではなく、どの自治体も財政が苦しいと認識している。
・20年後に若者が定着できる環境を整える必要もあると思う。
・官民一体の取組として、自分たちが動いて（財団など）外部から資金調達をした際に、最終的に市が駄目だと判断するとやりきれない。このため、最低限のできる範囲は、市も協力してもらいたい。